

進路通信

伊丹市立天王寺川中学校第2学年
令和2年1月21日 第6号

～面接について～

進路通信を通して様々なご質問にお答えしていますが、今回は面接に関してお答えします。1月31日には、学年の進路学習でDVDを使って詳しく説明する予定です。それまでにご確認ください。なお、内容は人材情報サービスのマイナビのサイトを参照しております。ご了承ください。

自分をうまくアピールするために

面接の基本対策を押さえておこう

受験生にとって面接は、人間性や入学への意欲、中学校までの頑張りなどを志望校の先生に直接アピールできる貴重な場です。何を聞かれるのか、自分の考えをうまく話せるのか不安な人も多いと思いますが、まずは最低限の面接マナーを押さえた上で、問われたことに対して誠実に答えましょう。また、質問対策として志望動機をまとめたり、自己分析をしたりすることは、改めて自分自身と向き合う良い機会です。しっかり自分と対話して進みたい道を明確にし、自信を持って面接に臨みましょう。

推薦入試や特色選抜などで行われる面接の

基本となる3タイプを押さえておこう

面接官が対話の中から受験生の人間性を総合的にはかり、評価する面接試験。推薦入試や特色選抜入試、私学入試で課されることが多く、特に推薦入試と私学入試の専願では必ずと言っていいほどあります。面接において、重要なのが事前準備です。志望動機を

明確にすることはもちろん、志望校の学びや、目指す専門学科やコースに関する知識や情報量を増やしておくことも大切。入学後の学習計画、卒業後の進路などについても、具体的に考えておきましょう。自分の考えさえしっかり持っていれば、丸暗記をしなくても自分の言葉で話せるはずです。

面接の2つのタイプ

面接は大きく「個人面接タイプ」「集団面接タイプ」の2つのタイプに分けることができます。志望校の面接がどのタイプなのかを確認し、それに合わせた準備をしましょう。私学などの学校によっては、専願では面接があるが併願ではないこともあるので注意しておきましょう。

個人面接タイプ

受験生1人に対し、面接官が1人～数人

多くの学校で行われている最もオーソドックスな面接です。事前に提出した志望理由書などをもとに質問されることも多いため、書類は提出前に必ずコピーをとり、内容をしっかり頭に入れておきましょう。また、志望分野に関連する教科の口頭試問が行われる場合もあります。1人で面接官に対応するのは緊張すると思いますが、まずは落ち着いてしっかり質問を聞きましょう。そして、対話をするつもりで和やかに話すことを心がけると良いでしょう。

集団面接タイプ

複数の受験生を数人の面接官で面接

受験生の数が多い学校でよく行われる方式です。他の受験生と同じ質問をされることもあれば、それぞれ違う質問をされることもあります。もし他の受験生と答えが重複する場合でも、表現を少し変えたり付け加えたりして、自分らしさをアピールすると良いでしょう。他の受験生が立派に見えても、焦りは禁物。惑わされずに自信を持って自分の考えを話し、意欲を積極的に表現しましょう。